

氏名	所属	職名	取得学位	専門分野	主な論文・著作・業績
下沖 収	総合診療医学講座	教授	博士（医学）	総合診療医学 地域医療学 外科学一般	①下沖 収, 堤 怜子, 高橋 清実, 佐藤 成大. 腸管出血性大腸菌O157学童集団感染における血清抗LPS抗体産生についての検討. 感染症学雑誌,2006;80:84-90. ②下沖 収.総合診療医の役割と今後の展望.岩手医誌,2020;235-241. ③Shimooki O, Ito N, Hakozaki M, Minakawa Y, Tono C, Abe T. A sewing needle in the liver: a case report and literature review. J Surg Case Rep. 2023 Dec;2023(12):rjad678. ④文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「課題名：高齢者の身体活動意欲向上に対する活動量計の効果検証と推進プログラムの開発」2020－2023年 ⑤文部科学省科学研究費補助金 基盤研究(C)「課題名：地域枠等奨学金養成医師は地域医療従事により地域医療志向性が芽生えるのか？」2023－2025年
大間々 真一	総合診療医学講座	准教授	博士（医学）	総合診療医学 救急医学 脳神経外科学	①Omama S,Tanno K,Inoue Y, Ogasawara K, Fukuda T, Oikawa Y, Onoda T, Ohsawa M, Sakata K. The potential of a stroke registry using diagnosis procedure combination data from all hospitals in a Japanese Prefecture.Cerebrovasc Dis.2022;51:447-452. ②Omama S,Komoribayashi N,Inoue Y,Mase T,Ogasawara K,Ishibashi Y,Ohsawa M,Onoda T,Itai K,Tanno K, and Sakata K.Occurrence of Cerebrovascular Diseases Decreased after the Great East Japan Earthquake and Tsunami of 2011.Cerebravasc Dis Extra.2020;10(3):105-115. ③Omama S, Ogasawara K, Inoue Y, Ishibashi Y, Ohsawa M, Onoda T, Itai K, Tanno K, Sakata K.Ten-Year Cerebrovascular Disease Trend Occurrence by Population-based Stroke Registry in an Aging Japan Local Prefecture.J Stroke Cerebrovasc Dis. 2020;29(3):104580. ④日本学術振興会科研費 基盤研究C「DPC情報と電子カルテを用いた脳卒中登録システム整備に関する研究」2019-2024年. ⑤日本学術振興会科研費 基盤研究C「悉皆調査による脳卒中発症登録とDPCデータによる脳卒中発症モニタリングに関する研究」2024-2028年.
高橋 智弘	総合診療医学講座	講師	博士（医学）	総合診療医学 救急医学 循環器内科学	①Tomohiro Takahashi,Fumitaka Tanaka,Haruki Shimoda,Kozo Tannno,Kiyomi Sakata,Shuko Takahashi,Yuki Yonekura,Akira Ogawa,Seiichiro Kobayashi,Osamu Shimooki,Motoyuki Nakamura.Five-year blood pressure trajectories of survivors of the tsunami following the Great East Japan Earthquake in Iwate.Hypertension Research.2021;44(5):581-590. ②高橋智弘. 心肺停止. 矢崎義雄, 小室一成 総編集. 内科学. 第12版. 東京：朝倉書店； 2022: p.255-257. ③高橋智弘, 照井克俊, 及川浩平, 青木英彦, 遠藤重厚, 小松隆, 中村元行. 当院救命救急センターへ搬送されたCPA患者の現状について. 心臓. 2012; 44(Suppl.2): 36-40. ④Takahashi T, Nakamura M, Onoda T, Ohsawa M, Tanno K, Itai K, Sakata K, Sakuma M, Tanaka F, Makita S, Yoshida Y, Ogawa A, Kawamura K, Okayama A. Predictive value of plasma B-type natriuretic peptide for ischemic stroke: a community-based longitudinal study. Atherosclerosis.2009; 207(1): 298-303. ⑤文部科学省科学研究費補助金「課題名：ナトリウム/カリウム比調整醤油の使用で高齢者の安全な降圧は可能か？」2022年

米田 真也	総合診療医学講座	講師	博士（医学）	総合診療医学 泌尿器科学 医歯薬学教育	①Maita S, Yuasa T, Tsuchiya N, Mitobe Y, Narita S, Horikawa Y, Hatake K, Fukui I, Kimura S, Maekawa T, Habuchi T. Antitumor effect of sunitinib against skeletal metastatic renal cell carcinoma through inhibition of osteoclast function. Int J Cancer. 2012 Feb 1;130(3):677-84. ②米田真也、齋藤 満、佐藤 滋、里吉清文、三浦喜子、熊澤光明、井上高光、湯浅 健、松浦 忍、土谷順彦、羽瀨友則、福田浩和、小林浩悦. 脳死判定から165日目に心停止後腎摘出し、35年と23年の透析から離脱した2例. 秋田腎不全研究会誌, 2007;10:89-92 ③米田 真也, 久木元 隆, 石田 雅宣, 忠地 一輝, 下田 次郎, 佐藤 岳久, 菅野 恵也, 柳谷 綾子, 小野瀬 剛生, 森 信芳, 伊藤 靖, 鈴木 雄, 半田 政志, 勝又 宇一郎, 渋谷 俊介, 柳川 直樹. 保存的治療で尿管狭窄が改善した尿管アミロイドーシスの1例. 日本病院総合診療医学会雑誌, 2023; 19(6):403-408 ④米田真也, 吉田昇修, 大久保佳祐, 喜早祐介, 樋口知見, 忠地一輝, 下田次郎, 齋藤 満, 藤山信弘, 羽瀨友則. 地方の一般病院における腎移植導入後の初期成績とその意義.. 第88回日本泌尿器科学会東部総会シンポジウム. 2023：札幌市 ⑤米田真也. なぜ岩手に研修医が少ないのか？そして私達に何ができるのか？. 第55回岩手県立病院医学会総会シンポジウム. 2023：一関市
山田 哲也	総合診療医学講座	助教		総合診療医学 総合内科学	①山田 哲也, 米田 真也, 高橋 智弘, 大間々 真一, 高橋 幹夫, 下沖 収. 新型コロナウイルスワクチンとの関連が疑われた慢性疲労症候群の2例. 第30回日本病院総合診療医学会. 2025:広島市 ②山田哲也, 今川竜二, 浮田昭彦, 菅家智史, 坂本和太, 齋藤雅彦, 須原 誠, 田村 茂, 米田真也, 高橋智弘, 大間々真一, 下沖収. 岩手県の専門研修プログラムの活動報告. 聴覚障害支援と福島医大総合診療医センターとのWeb振り返りを中心に. 第15回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会. 2024：浜松市 ③荒涼とした大地に芽は出なのか. それでも、耕し種をまこう/総合診療 (2188-8051)27巻1号 Page13(2017.01) ④山田哲也, 秋元仁志, 高橋智弘, 大間々真一, 下沖 収, *片桐 紘, *八鍬一博, *長島広相. 歯性感染症が原因で生じたと考えられた敗血症性肺塞栓症の2例. 第25回日本病院総合診療医学会学術総会. 2022：奥州市 ⑤山田哲也, 櫻井広子. 私が答えます！医療面接の「どうすればいいの!？」～介護申請ってどんな人に必要？介護申請をどう勧める？/THE 手あての医療. 羊土社. 2019：p208-215
高橋 幹夫	総合診療医学講座	助手	学士 （保健衛生学）	感染制御学 臨床検査学	①高橋幹夫, 下沖 収. 病室におけるイオンレス次亜塩素酸水の空間噴霧による緑膿菌除菌性能試験法の検討. 第58回緑膿菌感染症研究会講演集, 2024；41-45 ②高橋幹夫, 下沖 収. 高齢者施設・慢性期病院におけるゾーニングの手引き～新型コロナウイルス感染症～. サラヤ株式会社, 2021 ③高橋幹夫, 下沖 収. イオンレス®（次亜塩素酸水）の有人下における空間噴霧の安全性・有用性研究. 第39回日本環境感染学会学術集会総会. 2024：横浜市 ④高橋幹夫. 難しい、福祉施設におけるADL低下防止とCOVID19感染対策の両立. 岩手公衆衛生学会誌, 2021；33 (1) 16-18 ⑤高橋幹夫, 櫻井 滋：治療に役立つグラム染色. メジカルビュー社, 2017